

がん検診体制あり方検討会で検討された肺がん検診実施例

資料 3

	年齢 (R4年レントゲン件数)	パターン1	パターン2	パターン3	パターン4	使用する用紙
(調布市特定 加入者) 国民健康 保険	40～64歳 (5464人)	健診受診時に窓口で肺がん検診の希望を伝え受診	健診受診時に窓口で肺がん検診の希望を伝え受診	健診受診時に窓口で肺がん検診の希望を伝え受診	健診受診時に窓口で肺がん検診の希望を伝え受診	特定健診票 肺がん検診票
	65歳～74歳 (9498人)	健診受診時に窓口で肺がん検診の希望を伝え受診	健診受診時に窓口で肺がん検診の希望を伝え受診	健診受診時に窓口で肺がん検診の希望を伝え受診	健診受診時に窓口で肺がん検診の希望を伝え受診	特定検診票
後期 健診 高齢者	75歳以上 (13609人)	健診受診時に窓口で肺がん検診の希望を伝え受診	事前に健康推進課に申込み後、受診	事前に健康推進課に申込み後、受診	健診受診時に窓口で肺がん検診の希望を伝え受診	後期高齢健診票
調布市国民健康保険加入者以外（通年）		直接医療機関に申込み受診	事前に健康推進課に申込み後、受診	直接医療機関に申込み受診	事前に健康推進課に申込み後、受診	肺がん検診票
メリット・デメリット		・わかりやすい ・「国保加入者以外」の資格確認の方法を検討する必要あり ・検診の必要性が低い高齢者が多く受ける可能性がある	・「国保加入者以外」「後期高齢者」には煩雑 ・検診の必要な世代が多く受けることができる	・「後期高齢者」には煩雑 ・「国保加入者以外」の資格確認の方法を検討する必要あり ・検診の必要な世代がより多く受けることができる	・わかりやすい ・検診の必要性が低い高齢者が多く受ける可能性がある ・「国保加入者以外」には煩雑	